

(別紙3)

地球温暖化対策計画実施状況報告書の概要(公表用)

1 事業者の概要

法人名 代表者名	社会福祉法人 一乗会 理事長 佐藤 よし江	市内の 主たる住所	神奈川県相模原市緑区大島2222番地3
主たる事業 の内容	入所支援、生活介護、短期入所、共同生活援助		

2 計画期間

令和 7年度 ~ 令和 9年度

3 報告対象年度

令和7年度

4 報告対象年度における温室効果ガスの排出の状況

基準年度 排出量	484.9 t-CO ₂	報告対象年度 排出量	484.4 t-CO ₂
排出削減量	0.5 t-CO ₂	報告対象年度 排出削減率	0.1 %
(原単位を設定した場合)報告対象年度原単位排出量削減率			%

5 報告対象年度における温室効果ガスの排出の状況に関する説明

報告対象年度(令和7年度)における二酸化炭素の総排出量は484.48tとなり、前年度(令和6年度:484.94t)と比較して0.46t(約0.1%)の微減となりました。 エネルギー種別ごとの内訳として、電気由来の排出量は170.02tとなり、前年度(177.95t)から7.93t(約4.5%)減少しました。施設内の照明設備をLED化したことに加え、2025年12月より新たに太陽光発電設備を稼働させ、系統電力の購入量を削減したことが主な要因です。 一方、LPガス由来の排出量は314.46tとなり、前年度(306.99t)から7.47t(約2.4%)増加しました。これは、当年度の事業活動の推移や設備の稼働状況の変動に伴い、使用量が増加したことによるものです。

6 温室効果ガスの排出の抑制等を図るために実施した措置の内容

措置の内容
太陽光発電設備の導入(リバルテ・ロシナンテ)
照明設備のLED化(ロシナンテ)

7 その他地球温暖化対策の推進に寄与する取組等

令和7年12月に稼働した太陽光発電設備は、適切な維持管理を徹底して安定稼働に努めるとともに、再生可能エネルギーの自家消費率をさらに高めるため、蓄電池の導入を検討し、さらなる購入電力の削減と温室効果ガス排出の抑制を目指します。 また、全職員の環境意識向上にも継続して取り組み、不要な照明・空調の確実な停止や、空調使用時の扉の閉鎖など、日常的な運用改善を徹底しています。あわせて、施設に導入済みのデマンド監視システムを引き続き活用し、きめ細かな使用電力量の削減を図っております。 こうした設備の活用・導入検討と、日々の運用改善により、全体のエネルギー効率を高めることで、今後も継続的な地球温暖化対策に貢献してまいります。
--